

9月号

第451号

# いっしん

令和4年(2022年)

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市

加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL/FAX 0995-62-2895

Mアドレス hittobe.konkaji@gmail.com (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPの写真はカラーで見れます》

み教えを  
鏡と己が  
姿をば  
映してぞ見む  
日夜毎に  
甘本親教会  
初代教会長  
安武松太郎師神款

立教163年／教祖様139年／教団独立122年／小倉教会布教137年／甘本親教会布教118年／  
加治木教会布教71年（来年2月26日、矢野政美大人25年祭・サダ子大刀自10年祭）



できあがった  
1544羽の折り鶴



8月1日



## 第七十五回

### 少年少女全国大会に向けて

#### まごころ運動「祈りの折り鶴」

「みんなで御礼参拝」という願いを持って、コロナウイルス感染症が拡大しなければ、参拝させていただけように、光風館の方にはお手数をおかけし予約までしていたものの、七月に入り始良市・霧島市の感染者数が急増し、残念ながら参拝を中止したようなことでした。

しかし、毎年少年少女全国大会に向けて取り組んでいます「まごころ運動」の「祈りの折り鶴」は、信奉者の皆さんが、平和の祈りを込めて折り貯めてありましたので、八月一日の月例祭後に、系通しの御用がありました。

皆さんの祈りが込められた、

折り鶴は 1544羽、

使用済み切手は 157枚、

使用済みカードは 2枚、

文房具(鉛筆)は 42点、

ありました。ご協力、有り難うございました。

(全国大会について)  
次ページ(11)から

「祈りの折り鶴」系通し…P1  
加治木教会 祈願祭…P3～5

第75回少年少女全国大会報告…P2  
矢野政美大人遺稿…P6 教会行事…P8

参拝  
できませんでした、

# 第75回少年少女 全国大会 (報告)



年代別キャンプ(8/3~6)



教主金光様お出まし (8/7)



かがやけ大行進 (8/7)



ゆうざきランド (8/7)



わかば祭 (8/7)

第七十五回少年少女全国大会は、八月六日、七日、「つながれ」をテーマに、開催されました。

また、大会に先駆け、八月三日から八月六日まで中高生対象の「年代別キャンプ」が、胎金寺野営場・岡山県真庭市蒜山高原で、実施されました。

三年ぶりとなる二日型の全国大会となりました。

当初予定していた「霊地夜まつり」「ポルダリング」はコロナ禍のため開催を中止され、その他の行事は、感染対策を徹底しながら実施されました。

第一日(八月六日)午後二時三十分  
に会堂広前にて開会式が執り行われ、わかばの代表が金光様に一年間のお礼と参加できた喜びのお届けを申し上げ、会堂ステージで開会セレモニーが行われました。

その後「まごころテント村」「作品展覧会」「キッズパーク」「クラフト教室」「ゆうざきランド」「図書館探検隊」の常設行事が一斉に開設されました。

八月七日は、金光様のお出ましを

お迎えがあり。

十時三十分からは「かがやけ大行進」が始まり、二十五の参加団体が、焼け付くような日差しの中、それぞれに金光様へのお礼の参拝を、一杯に現しました。

午後一時からは、祭場で「わかば祭」が執り行われ、ご祭典では取次唱詞、まごころ運動奉奠に続いて、金光様ご夫妻がご入場され、金光様より全国のわかば達にお言葉を頂きました。

続く式典では、継続登録会、努力目標入選、作品展入選、チャレンジカードなどの表彰があり、アトラクションでは泉南少年少女会による演劇が行われました。

そして、来年の大会での再会を誓う閉会セレモニーを行って、大会の全日程が終了しました。

金光教ホームページ、少年少女会連合本部ホームページ「第75回大会報告」等より文章抜粋・写真等使用。

加治木教会

# 祈願祭 教話 (要旨)

七月二十四日 (日)

講師 梅木博光先生

(多良木教会会長)

(※祈願祭がお仕えされるようになった、意義・意味合いをお話しにあられた後に、次のようにお話をされました。)

## ▼私自身のお礼を申す稽古が

五月十五日、人吉教会の布教百年記念大祭の日の朝、朝御祈念後に健康のために走っているのですが、いつもは教会の前辺りを走っていますが、その日は街中まで足を延ばしてみますと、何かの段差でつまずきはげしく転んでしまいました。

転ぶ瞬間、手を出すことでできたのですが、中指と薬指を強く痛めてしまいました。

その日は、人吉教会の記念祭でしたので、翌日かかりつけの町のお医

者さんに行きました。

レントゲンを撮ってもらうと「骨も折れていませんし、痛み止めの薬を出しておきましょう」ということでした。

それから四十日ほど経っても、腫れが引かず痛みもあることを伝えますと「公立病院に紹介状を書きましょう」ということで、公立病院の整形外科の専門の先生に診てもらいました。

すると「手術をしてみましよう」ということになり、血液や血圧など種々の検査を受け、レントゲンももう一度撮って診られたところ「剥離骨折です、しかし、四十日も経っているのどうにもなりません」と言われました。



それで、二個で一萬四千円もする

装具を指に付けることになりました。この装具を指に着けると、御用が何もできませんので、夜寝る時だけ着けますと、二十分ほどで痛みに耐えかねて目が覚め、少しずつ慣れて一時間ほどはもつようになりましたがどうもいけません。

また、公立病院に行く時に、車の免許証と保険証が見当たりません。

けっきょく、保険証は再発行手続きができましたが、運転免許証の再発行は熊本市内まで行かなければなりませんので、熊本行き的高速バスの切符も予約しました。

そうして、甘木親教会の御用に行く日が近づいてきますので、準備をしようとして洗面具のバッグを見ますと、そこに免許証も保険証もあつたのです。

さっそく、免許証紛失届と免許再発行も高速バスの予約も取り消すというようなことでした。

日頃、信者さんが何かの紛失などをお願いされた時には「お礼を申しに行きましよう」とお話ししますが、自分自身がしっかりお礼申さねばな

らないことを思わせていただいたよう  
なごとうでした。

▼難病を通して信心のお育てを

以前お話しさせていただいており  
ました、三重県に住んでおります長  
女の正恵のところの孫のことについ  
てですが、その後、チャーシ症候群  
の手術やりハビリの結果、今は三才  
にならせていただき、この頃は口か  
ら食べることができるようになり、  
保育園にも通わせていただくことが  
できるようになりました。

歩くのも何とか立って歩くことが  
できるようになりました。

少し前に、その孫を連れて里帰り  
をしてきましたが、一緒に遊んであ  
げたり、近所を手を引いて散歩した  
りしていると、だんだんと自分で歩  
けるようになってきました。

三重県に帰ってから、一人で歩  
くようになったと喜んで伝えてきま  
した。

去年は、お義母さんから夫の方に  
「母親を取るか嫁を取るか」と言わ  
れて、一時は離婚ということにもな

りましたが、ふたたびよりが戻り、  
おかげを蒙らせていただきました。  
夫は嫁の方を取ったので、お義母  
さんと疎遠になってしまっており、  
そのことは今後の信心の課題となっ  
ております。  
大変なことは多いと思いますが、  
娘夫婦が信心のお育てを頂いている  
ことが有り難いと思わせていただい  
ております。



▼ゴルゴ松本『命の授業』より

お笑い芸人のゴルゴ松本という方  
がおられますが、少年院の慰問など  
もされるそうです。

図書館で本を探してみますと『命  
の授業』という本がありました。  
それには、

~~~~~

「言葉にじやだま」という言葉があ  
りそのことについて「言葉には魂が  
宿っており良いことを言ったらよい  
ことが起こり悪いことを言ったら悪  
いことになる、それに気づけば、思  
うようになる。」

「辛(しつらい)という字に、一(ひと)と  
つ(つ)という字を足せば「幸(しあわ  
せ)という字になる。人間には「困難」  
「災難」などの「難」ということが  
あるが「無難」という人生はあり得  
ない「難」があるからこそ「有り難  
い」ということがわかる。」

「吐(はく)という字は、マイナス  
の面がなくなれば「叶(かなう)とな  
る。」

~~~~~

とありましたが、金光教のみ教え  
に通ずるように思われます。

母を介護している時に、下のお世  
話をしております時に、母が手を合  
わせて私の方を拜んでおることがあ  
りました。

それを見た時「辛いな」と思う私  
の心が、神様に向かうというのか、  
尊い心になったことがありました。

辛い心も信心が一つあれば幸せになることができます。

▼「ご神号を奉唱して」

父が若い頃、四国の大島というところに布教している時、甘木の初代のところに「いよいよ布教困難となり食べられなくなりました、もしもの時、あとのことをよろしくお願いします」と手紙を書きました。

そのお返事に「ここに四円の為替(かわせ)があるが、送ってやりたいが、送ってやったらおかげにならないから送りません」とあったそうです。その最も大変な時から、次のようにご神号を奉唱するようになったそうです。

「ありがたい、もったいなき、おそれおおきの三喜(みき)の心を奉(た)てまつります、生神金光大神様、天地金乃神様」

と唱え、腹式深呼吸をしながら繰り返すようになったそうです。

その頃から、参拝する人があるようになり、やがて道が立つようになったということでした。



私のすぐ上の姉は三才上ですが、今東京にいて、日本橋教会にお参りさせていただいています。ある時病院の待合室で順番を待っている時に、急に胸が苦しくなり、父の唱えていたご神号を思い出し「ありがたい、もったいなき、おそれおおきの三喜(みき)の心を奉(た)てまつります、生神金光大神様、天地金乃神様」と唱え続けていたそうです。

その時、その病院で診てもらいますと動脈瘤が破裂していたそうです。

専門の病院に運ぶために救急車を呼びましたが、出はらっていたのかなか来ません。

ちょうどその時に、夫が何かの忘れ物を届けに車で病院に来まして、

その車で専門の病院に行くことができました。

そのようにして専門の病院で診てもらいますと、動脈瘤が破裂して出血した血がそこで固まり、それが壁となつて出血が止まり、血管が補修されて手術の必要がなくなったということなのです。

いよいよの時、腹が立った時、何かあった時、ご神号を奉唱しながら御礼やお願いをさせていただいて行くことが大切と思います。

(おわり)



前加治木教会長

# 矢野政美大人

## 遺稿

矢野政美大人二十五年祭を来年(令和五年)二月二十六日にお仕えさせて頂いた。矢野政美大人の遺稿を掲載し、改めて読み直し、信心姿勢を頂き直し、お慰びさせて頂いた。こうするものであります。

《昭和五十三年九月号より》

「神様に使っていた者に」

何事によらず、偽物にせものからは良いものは生まれてはきません。真実(ほんとう)のものからは真実に良いもの、ありがたいものが生まれてくるものです。



矢野政美大人

一口に「信心」と申しましても、その中身になってみるといろいろ違った性質のものがあります。

その中でもただ自分の願いを神様になんて言っていたために、一心に拝みお願いすることを信心と考えておる人が案外多いように思われますが、それだけの信心であります。何十年の信心といっても決して「真実のおかげ」がいただけるはずはありません。

それは自分中心で、自分のために親神様を使っておるにすぎません。それでは「真の信心」とはどんなことかといえますと、まず第一に「わが身は神徳の中に生かされてあり」ということを心から分らせていただき、我情我欲の心を捨て、天地書附にお示して下されてある生き方を進めさせて頂いた。以外にはないと思われず。

それは生神金光大神様の御取次を頂き奉り、天地金乃神様へ一心にお願い申し、おかげの源となります。「和賀心」になしていただきますよう、今月今日でおすがり申し上げる。ことだと思わせていただきます。

そうして神様から思う存分にお引き回しいただき、大きなお役に立たせていただいて「神も助かり人も立ち行く」金光大神の道を貫くおかげをいただきます。よう。

《昭和五十七年九月号より》

矢野政美大人 詠歌

親神のみこころ悟り人思う  
深き祈りぞ己が行く道

うら盆の涼しき風にさそわれて  
軽やかに鳴る風鈴の音

第三十七回の終戦記念日  
世の状をうは我の一人にあらず

七日の命声の限りに鳴く蟬の  
生きる喜び根の限りに

暑さをも神修行とこそ思われるに  
今朝は涼しき風を恵まる

全国信徒会

三十日信行の取り組み

金光教全国信徒会から「三十日信行チエックシート」と取り組みの案内が、三月付けで各教会の信徒会あてに送って頂きました。

加治木教会でも、五名の信徒の皆さんが取り組まれ、お届けされています。

九月上旬に全国信徒会事務局へ送り、全国信徒会より本部広前に、お届けされることになっていきます。

また、少年少女会員のみなさんは、少年少女全国大会に向けて、チャレンジカード（親子で取り組む取り組み表）に五月から七月中旬まで取り組みました。

七月末までに教会に持ち寄られた分は、少年少女会連合本部に送り届け、第75回少年少女全国大会で展示され、少年少女会連合本部から、表彰状と記念品が届いています。

お祖父さんお祖母さんたちも、また、子供たちも親子で信心の稽古に取り組むことができ、有り難いことでした。



九月のご霊神様のお立日

九月

中島時彦之霊神	昭和62・09・02
平島信彦之霊神	昭和20・09・03
前田 満之霊神	昭和42・09・03
庄村ミサ之霊神	昭和42・09・05
桐野伸太郎之霊神	昭和10・09・09
汰木スエ之霊神	昭和55・09・12
平島道雄真道別彦之霊神	昭和09・09・20
大重美知子白萩刀自之霊神	令和2・09・21
大重為廣之霊神	昭和24・09・22
汰木節夫之霊神	平成27・09・22
西本ハル子之霊神	平成17・09・25
桐野 整之霊神	昭和45・09・28

立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんさせていただき、お礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、ご霊前での玉串の奉てんを準備しています。

あしあと

加治木教会行事記録

- 8月
- 1 (月) ●報徳月例祭 10時半
  - 7 (日) 多良木教会祈願祭 11時
  - 9 (火) 清掃御用 10時
  - 10 (水) ●月例祭生神金光 併せて 10時半
  - 21 (日) 清掃御用天神様 霊祭 10時
  - 22 (月) ●月例祭天徳多 万神様 共励会 13時半
  - 31 (水) 清掃御用 10時

感 詠 (教会長)

コロナ禍のワクチン接種  
副反応辛さあれども命を礼び  
御神米頂きたあとカロナール  
服用をせり第四接種  
戦争の過ち生むは指導者はんげんの  
怠りなるをメディアの伝う  
天の川このあたりかと眼の薄れ  
それも命のありてと礼ぶ  
梨並ぶ産地はすでに秋もよう  
まだ真夏日のあるとうのに  
雨降ればいくぶん気温下がりゆき  
わずかずつにぞ秋に向かうか  
鉢植えもプランターにも水やりの  
必要なくすタ立ありぬ  
お湿りがあれば水かけ休みおり  
なんと尊きみ恵みなるか

九月二十三日(祝)

十時半より

# 秋季 霊祭 奉仕

※祭典後、教話。

(霊祭申込用紙、ご記入の上御結界へお届け下さい)

十月一日(土)～二(日)

御本部

# 生神金光大神御大祭

参拝

交通機関未定  
宿泊先々光風館  
旅費未定

## 《記念祭》 (予定)

☆10月30日(日) 11時

上荒田教会布教95年記念大祭

☆11月20日(日) 11時

志布志教会布教95年記念大祭

☆11月6日(日) 12時

西鹿児島会布教125年記念大祭

## 教会行事

9月

- 1 (木) ●報徳月例祭 10時半
- 4 (日) 連女性のごとくい 《中止》
- 9 (金) 清掃御用 10時
- 10 (土) ●月例祭(生神金光 併せ) 10時半
- 21 (水) 清掃御用 10時
- 22 (木) ●月例祭(天地金 乃神様)
- 23 (祝) ●秋季霊祭10時半
- 25 (日) 連青年のひろば 《中止》
- 30 (金) 清掃御用 10時

連合会行事中止のお知らせ

(コロナウイルス感染拡大のため)

九月四日(日)開催予定でした、  
女性の集いは、中止となりました。

九月二十五日(日)開催予定でした、  
青年のひろばは、中止となりました。

10月

- 1 (土)～2(日) 御本部(生神 金光大神) 御大祭参拝
- 3 (月) 清掃御用 10時
- 4 (火) ●報徳月例祭 10時半
- 9 (日) 清掃御用 10時
- 10 (祝) ●月例祭(生神金光 併せて) 10時半
- 21 (金) 清掃御用 10時
- 22 (土) ●月例祭(天地金 乃神様) 共励会13時半
- 30 (日) 川内教会70年記念祭
- 31 (月) 清掃御用 10時

「改まりの願い」(加治木教会)

自己中心の信心から

親神様の御立場に立った信心に、

親神様を使う信心から

親神様にお喜びいただき、

ご安心いただく信心に、

おかげを信じる信心から

親神様・ご神慮を信じる信心に、

改まらせていただくよう。